

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

2023年2月実施

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	22.2	55.6	22.2	・狭いため、テーブルを畳んだり工夫してフロアを使っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	100			・児発達支援管理責任者・児童指導員・保育士を適切に配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	66.7	33.3		・フロアは段差がないが、手すりが少ない。 ・玄関に段差があるため、車いすが入れにくい。 ・車いすでのトイレ利用(手洗い)がしにくい。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100			・ヒヤリハット様式の変更を行って、振り返りができるようにしている。 ・月に1回パート・アルバイトを含めて会議を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100			・評価表でアンケートを実施、集計し周知している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100			・ホームページでの公表、利用者の保護者には結果をプリントして配っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100	・第三者とは？
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100			・ZOOM、YouTubeで研修が行われている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			・保護者には「こどものすがたアンケート」、職員にはモニタリングをしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100			・3年毎に保護者の方にサポートブックを見直してもらっている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100			・主として担当者が考え、意見を出し合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100			・同じ活動でも内容を変えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100			・退屈しないように目的を決め、活動・支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			・変更等あれば変更している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100			・全員では難しいが、その日の内容や分担を伝えている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	66.7	33.3		・打ち合わせほどではないが、その日にあったことを話している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			・排尿チェック等を使用している。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	100			・主として担当者が考え、意見を出し合っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	100			・児童発達支援管理責任者が行っている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100			・下校時刻の変更等、その都度調整している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	66.7	22.2	11.1	・情報共有に努める意識はある。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	66.7	33.3		・情報提供する意志はある。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		22.2	77.8	・受けていない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			100	・機会はない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		11.1	88.9	・参加していない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			・送迎時や面談で状況を把握している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			100	・していない。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			・契約時に施設長が説明している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	88.9	11.1		・相談があれば面談等、適宜行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	22.2		77.8	
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			・苦情はないが、苦情対応についてマニュアルがある。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100			・ホームページ(月2回)、Instagram(週1回)、おたより(月1回)で情報発信している。

	③⑤	個人情報に十分注意しているか	100			・気を付けている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			・気を付けている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		88.9	11.1	・自治会には入っているが関りが無い。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	44.4	55.6		・職員へは周知しているが、保護者へはできていない。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100			・避難訓練を年2回行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			・研修を行っている。 ・虐待防止チェックリストも月1回行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100			・保護者に説明後、同意書にサインをもらい、その後、個別支援計画書に記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100			・医師からの指示書はないが、アレルギーの把握はしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	88.9	11.1		・パート・アルバイトの方には共有ができていない。